

福島県県内避難者・帰還者心の復興事業補助金



## 絵おと芝居

東京電力第一原発事故により  
大熊町からの避難者を会津若松市は  
温かく受け入れていただいています。  
おおくま町物語伝承の会は  
恩返しとして会津若松市のよさ  
会津若松に避難にいたつた経緯を  
音楽と絵で踊りや芝居で紹介します。

入場無料



梶川順司  
(篠笛・フルート)



森恭子  
(エレクトーン)



佐藤 雅人(歌)  
千葉 静江(唄)



2020  
**2月29日**  
(土)日

開場13:30、開演14:00  
会場：鎌倉能舞台  
(神奈川県鎌倉市長谷3-5-13)

▼主催：おおくま町物語伝承の会 ▼後援：大熊町教育委員会

問合せ先：おおくま町物語伝承の会 090-5352-2576

## 絵おと芝居上演予定のまち物語

体験を通して  
未来へ伝えたい事

大熊町の被災体験、避難体験を後世に残そうと大熊中学校の子供達は作文を書いた。そこにはおにぎりをくれた田村市の住民、東京で差別的言葉を浴びせられた体験が赤裸々に語られていた。作文そのままに絵をつけた紙芝居

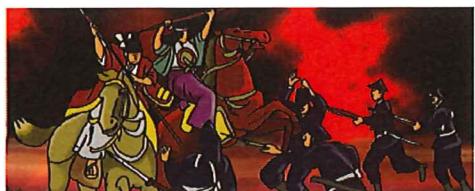
おおくま  
中学校再開物語



全町民避難となった大熊町。一旦は全国各地に散らばったが、その多くは福島県の会津若松に戻ってくる。町民を結集させる力となったのは素早い小中学校の再開だった。大熊中学校において繰り広げられた出会いと別れの物語。



東日本大震災前、多くの大熊町民が愛した日陰山、そこには天狗が住むといわれていた。大熊町の天狗伝説



東日本大震災により大熊町を受け入れた忠義の町 会津若松市。そのルーツは明治時代にあった。町を守るために立ち上がった女剣士、山本八重と勇敢な女性たちの物語。

2020  
**229**(土)  
月

開場13:30、開演 14:00

会場：鎌倉能舞台

(神奈川県鎌倉市長谷3-5-13)

## 出演予定（おおくま町物語伝承の会）

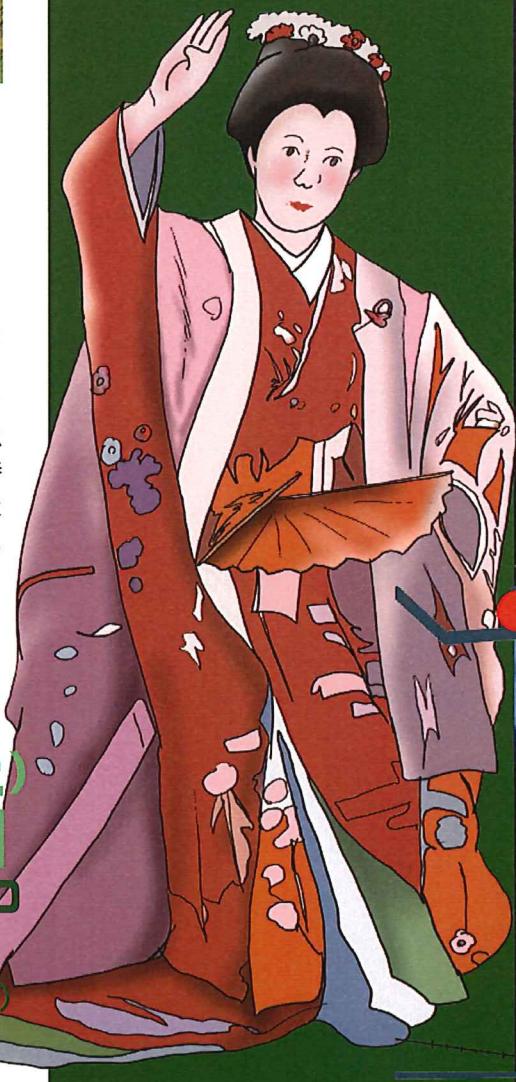
東日本大震災により  
人生が一変した福島の「おふくろ」との  
その物語をおおくま町物語伝承の会が演じ  
その心情を福島のシンガーソングライター  
佐藤雅人が歌います。

おふくろ

佐藤雅人ミニコンサート

飯高 忠明、飯高 豊子、板橋 朋希、  
板橋 ゆき乃、岩元 瑞希、岩元 晓、  
大塚 邦子、加藤 直人、齋藤 猛、  
斎藤 典子、坂井 常雄、佐藤 豊子、  
三瓶 美和、三瓶 緹香、鈴木 文雄、  
鈴木 清子、高倉 麻紀、高倉 紀佳、  
橘 秀人、橘 弘美、橘 嶽明、橘 和美、  
千葉 静江、仲野 文江、中丸 正夫、  
梨本 正、梨本 幸子、  
西村 志保、村井 光、山崎 由美子、  
横川 美保子、横川 清子、横川 成美

※おおくま町物語伝承の会／福島県双葉郡大熊町で活動していた日本舞踊グループ「寿蘭会」が中心となり結成した語り部グループ。東日本大震災や故郷の民話・昔話を紙芝居や日本舞踊、民謡で伝え、避難者の心の支援、震災の風化防止のため会津若松市を拠点に活動する。



### 鎌倉能舞台MAP

交通: JR「鎌倉駅」乗り換え、  
江の島電鉄「長谷駅」より  
徒歩7分 (P3台)

鎌倉能舞台

日蓮宗行時山光則寺

長谷寺

江の島電鉄 長谷駅